

[成果情報名]ベと病耐病性を有し、ワインの香りが豊かな白ワイン用ブドウ新品種候補
「ブドウ山梨 54 号」の開発

[要約]「ブドウ山梨 54 号」は「シャルドネ」に「カユガ・ホワイト」を交雑して育成したベと病耐病性を持つ白ワイン用ブドウ新品種候補である。果実の糖度が高く、成熟期は 9 月下旬から 10 月上旬で、ワインは香りが豊かである。

[担当]果樹試・育種部・醸造ブドウ育種科・上野俊人

[分類]技術・普及

[背景・ねらい]

ブドウの主要病害であるベと病は、醸造用ブドウに対しても栽培年によっては大きな被害が発生する。そこで、ベと病に対して耐病性を持つ醸造用ブドウ品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 「ブドウ山梨 54 号」は平成 8 年度にワイン品質が優れる「シャルドネ」にベと病耐病性を持つ「カユガ・ホワイト」を交雑して得られた実生から選抜した(図 1、図 2)。
2. 平成 20 年度からは、(独)農研機構果樹研究所が主催するブドウ第 12 回系統適応性検定試験に供試し、栽培性とワイン品質が優れることから、平成 24 年度に白ワイン用の新品種候補系統として選抜された。
3. ベと病耐病性は、県内における主要な白ワイン用品種である「甲州」や「シャルドネ」より高く、耐病性を持つ片親の「カユガ・ホワイト」と同程度であり(表 1)、安定生産が期待される。
4. 樹勢は「強」であり、「シャルドネ」よりやや強い。成熟期は「9 月下旬から 10 月上旬」で「甲州」よりやや遅い。果房重は 170 g 程度で、果汁の糖度は 23%程度と高い(表 2)。
5. ワインは香りが豊かであり、品質検討会における評価は高い(表 3)。
6. 栽培年によっては花振りによる小果粒が多数混入するが、裂果もなく成熟するため、除去せずにワイン原料としてもワイン品質に影響しない。

[成果の活用上の留意点]

1. 県下のブドウ産地全域での栽培が可能である。また、垣根栽培、平棚栽培は共に可能であるが、生育初期の新梢が欠けやすいため、平棚への誘引作業は慎重に行う。
2. ベと病には耐病性を持つが、他の主要病害に対する感受性は対照品種の「シャルドネ」や「甲州」と同程度であるため、定期的な病害虫防除は必要である。

[期待される効果]

1. 「甲州」や「シャルドネ」の補完的品種として、ワインメーカー、醸造原料ブドウ栽培農家への普及が期待できる。

[具体的データ]

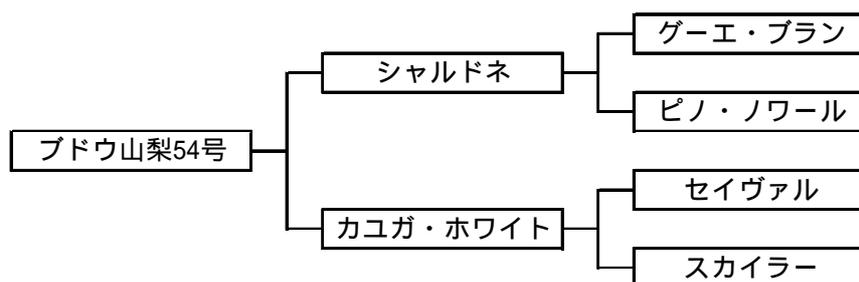


図1 「ブドウ山梨54号」の系統図

表1 「ブドウ山梨54号」と対照品種等とのリーフディスク法によるべと病耐病性の比較 (2004~2011年)

区別	品種・系統	発病度 ^z
供試系統	山梨54号	18.7
耐病性品種	カユガ・ホワイト(片親)	14.1
対照品種	シャルドネ(片親)	38.4
	甲州	64.3



図2 「ブドウ山梨54号」の果実

z: 発病度 = { (指数 × 分生子形成面積別リーフディスク数) / (全調査リーフディスク数 × 5) } × 100、指数は分生子が形成された面積によって0~5の6段階(0:0%, 1:1~10%, 2:11~25%, 3:26~50%, 4:51~75%, 5:76~100%)に分けた。発病度が低いほどべと病耐病性は高い。

表2 「ブドウ山梨54号」の樹体および果実特性(2008~2013年)

品種・系統	樹勢	収穫日	花振り	着粒密度	収量 ^z (kg/10a)	果房重(g)	糖度(%)	酸度(g/100ml)	香気	裂果
山梨54号 ^y	強	9月28日	中~多	中~密	1,321	169	22.9	0.75	マスカット	殆ど無
シャルドネ ^x	強	9月7日	少	密~極密	1,555	312	20.9	0.67	無	極少~少
甲州 ^w	強	9月20日	中~多	中~粗	1,178	194	18.5	0.80	無	無

z: 収量調節実施、目標収量1,300kg/10a y: 棚一文字短梢剪定、樹齢6~11年生
 x: 棚一文字短梢剪定、樹齢6~11年生 w: 棚自由整枝長梢剪定、樹齢8~13年生

表3 「ブドウ山梨54号」のワイン品質並びに評価(2008~2013年)

品種・系統	アルコール分(%)	I値分(%)	総酸含量(g/100ml)	評点(10点満点) ^z	主なコメント
山梨54号 ^y	13.3	2.17	0.60	5.9	フルーツ香、マスカット香、エステル香、クワン香、香りのバランス良、ミネラル感有り
シャルドネ ^x	12.6	2.04	0.64	5.0	味・香り共にフラット、味が薄く香り少ない、香り不足
甲州 ^w	12.1	1.98	0.73	5.4	酒色が濃い、柑橘香、甘い香り、ミネラル感有り、味に厚み有り

z: ワインメーカー等による官能評価、色2点、香り3点、味5点の持ち点で最良10点。(延べ人数263名)
 y: 棚一文字短梢剪定、樹齢6~11年生 x: 棚一文字短梢剪定、樹齢6~11年生 w: 棚自由整枝長梢剪定、樹齢8~13年生

[その他]

研究課題名: 系統適応性検定試験(醸造用)

予算区分: 国委

研究期間: 1996年~2013年

研究担当者: 上野俊人、小林正幸、三宅正則、手塚誉裕、雨宮秀仁、宇土幸伸、近藤真理、別所英男、齋藤寿広